

総務文教委任委員会

委員長 久夫 野澤
副委員長 三千夫 黒澤
委員 夫 保照 大久
昭安 新井
秋 崎 加賀
兵衛 松岡
和浩 大嶋
浩 弥 関口

熊谷市税外収入金の督促等に関する条例の一部を改正する条例について

問 延滞金の利率が高すぎるのではないか、伺いたい。

答 現在の経済状況や金利の状況を見ると高いと思うが2千円以下の滞納については延滞金がかからず、千円未満の延滞金は切り捨てになり、延滞金発生までは期間が長いなど延滞金が発生する機会が少なく、また減免の特例も設けている。

(所管課・財政課)

工事請負契約の締結について(平戸中継ポンプ場汚水ポンプ改築更新工事)

問 入替にあたり、ポンプの能力など改善されることがあるのか伺いたい。

答 4台のうち2台は速度制御、排水能力の調整機能が追加され、効率的な運転ができる。

(所管課・下水道課)

問 交換後、久下小学校の用地は足りるようになるのか伺いたい。

答 PTAから出された駐車場の要望を満たし、現時点においては十分と考えている。

(所管課・教育総務課)



交換後市有地になる土地

平成25年度熊谷市一般会計補正予算(消防費)について

問 今回NOx・PM低減装置を取り付けるほか、オーバーホールを行うはしご車は使用期限があと2年無いと伺っているが、このオーバーホールを行ってどのくらい維持できるか伺いたい。

答 オーバーホール後5年間使用する予定である。

(所管課・警防課)

環境産業常任委員会

委員長 高広 閑野
副委員長 幸子 林
委員 健昇 栗原
修 崎 磯
市 貢 松本
み くる 桜井
延 宣 須永
実 茂 杉田

平成25年度熊谷市一般会計補正予算(農林水産業費)について

問 女性起業家ステップアップ支援事業補助金を活用するということが2分の1の補助ということだが、これを使うための基準や上限があるのか伺いたい。

答 県の女性起業家ステップアップ支援事業であるが、商店街の空き店舗を活用して女性起業家の育成・支援に特化したインキュベーションショップの開設に必要な改装経費の一部ということで市町村と連携して商店街に補助するというものである。県の補助については事業費の2分の1で上限75万円となっている。市も同額の75万円を補助するというところでトータル150万円の補助となる。

(所管課・商業観光課)

問 排水機場管理経費の負担金がふえた理由を伺いたい。

答 県の事業費が国の臨時特例交付金等で増額となったことに伴い、今回市が県に併せて増額補正したものである。内容的には、男沼の排水機場の排水ポンプの部品交換、減速機部品交換、

圧縮機の補修および建屋の屋根の塗装等の修繕を行う予定である。

(所管課・農地整備課)

平成25年度熊谷市農業集落排水事業特別会計補正予算について

問 地盤沈下でこう配の変化があったためとあったが、地盤沈下の原因はどのようなことか伺いたい。

答 地盤沈下の原因は特定できていない。当該箇所は五郎兵衛沼に隣接しており、元来地盤が軟弱なため、地盤沈下が生じたものと推測される。

(所管課・農地整備課)



妻沼地区の仲町なかよし商店街にある店舗

市民福祉常任委員会

委員長 健二 厚
副委員長 小池 甚一
委員 小林 恒男
小松 加藤 美智子
大 山 三浦 和一
小 林 一貴

熊谷市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

問 改正条例の施行は平成29年1月1日からという説明があったが、3年以上延ばす理由について伺いたい。

答 金融機関や証券取引機関のシステム改修に一定の期間を要することに加え、金融所得課税の課税方式を改めるためには、納税者の方への十分な周知期間が必要であること、損失の繰越控除が3年あることより、地方税法の改正の施行が平成29年1月1日からとなったためである。

(所管課・保険年金課)

熊谷市デイサービスセンター条例および熊谷市在宅介護支援センター条例を廃止する条例について

問 両センターの民間譲渡に伴い、料金体系について変わりがいいのか、また、当デイサービスセンターを現在利用している方について、今後もし引き続き利用できる形になるのか伺いたい。

答 介護保険法により、利用料金はサービスを受ける方の介護度によって

決まっております、事業者によって変わるということはないので、今までの料金で適用されることになる。また、利用については民間譲渡に伴って事業主体が変わるわけだが、利用者が希望すればそのまま今の施設を使えるという形で引き継ぎを進めていく。

(所管課・江南行政センター市民福祉課)

平成25年度熊谷市一般会計補正予算(民生費)について

問 災害時要援護者避難支援事業の関係でシステム改修するという説明だったが、具体的にどういった機器をどのように使うものが計上されているのか伺いたい。

答 災害時要援護者名簿登載者の住所と地図が連動できるシステムの入ったノートパソコン、サーバーおよびプリンターを予定しており、ノートパソコンについては長寿いきがい課、障害福祉課及び福祉課に1台ずつ、計3台を配置し、3課で情報を共有できるシステムを考えている。

(所管課・長寿いきがい課)

都市建設常任委員会

委員長 淳
副委員長 忠之
委員 次夫 美吾 一
守屋 長 清 正 勝 信 新
山田 井 井 田 岡
委員 新 新 福 富 森

熊谷市営住宅条例の一部を改正する条例について

問 「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」ならびに「福島復興再生特別措置法」に関連する、市営住宅への入居相談件数は、過去、年間何件程度あったか伺いたい。

答 「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」に関連する入居相談は年間1、2件、「福島復興再生特別措置法」に関連する入居件数はこれまで9件である。

(所管課・営繕課)

市道路線の認定・廃止について

問 市道妻沼3038号線を廃止するとの提案だが、この市道には周辺の住宅10軒ほどの排水先としての側溝が設置しており、この市道を廃止した場合、排水の流れが確保されるのか伺いたい。

答 当該側溝を、行政センターの敷地に新たに設置する排水溝に接続し、既存の流れを受ける計画になっている。

(所管課・管理課)



パールリボン



震災復興ロゴマーク



市道妻沼3038号線